

スタートカリキュラムで子供の育ちと学びをつなぐ！



新1年生は、みんな小学校での生活を楽しみにしているようだ。円滑なスタートが切れるように、みんなでバックアップしよう。



新学習指導要領では入学当初において

「児童が自己を発揮しながら学びに向かうことができるようにすること」とあります。そのためには…

園と連携、協力する。

- 保育者との引継ぎで児童の実態や指導の在り方などについて協議
- 園からの指導要録、保育要録等を担任だけでなく養護教諭等と共に確認
- 園を訪問し、生活リズム、環境構成、保育者の関わり方等を確認

学校体制で 新1年生を バックアップ！



学校全体での取組とする。

- 1学年合同による授業
- 他学年との交流活動・サポート
- 養護教諭や専科担当教諭等とのチーム・ティーチング
- スタートカリキュラムの必要性や内容を1年担任だけでなく、全ての教職員で理解、共有



期待が不安に変わってしまう子供もいるようですね…。



勉強って難しいのかな
園の生活と全然違う？
わからないことが
たくさんありそうで心配

スタートカリキュラムは、『子供にとっての安心プログラム』と言えます。全校体制でスタートカリキュラムに臨むことで、『保護者も安心』『先生も安心』のプログラムになります。

そんなときこそ！

スタートカリキュラムをCheck!!



園の生活と全然違うのかな…

これまでの経験を問いかけてながら学校のルールやマナーを確認。

「廊下を歩くときに、園で気を付けていたことはある？」
「静かにゆっくり歩くようにしていたよ。」
「わたしの園でもそうだったよ。」

じっとしてられないかも…

安心して学校生活を送るための工夫(例)

- ・個別の活動と(小)集団での活動を効果的に組み合わせる。
- ・手遊びや歌、絵本の読み聞かせ、お話タイムなど幼児期に慣れ親しんだ活動を取り入れる。
- ・集中時間、意欲の高まりを大切に10～15分程度の短い時間を活用したり、2時間続きの学習活動を位置づけたりする。

小学校の勉強は難しそう…

思いや願いを生かした学習活動を構成する。

「広い校庭で遊んでみたいなあ。」
「あのお部屋には、何があるんだろう。」
(生活科での学校探検)

体験をきっかけにして、各教科等につなげる。



「先生、あのね。学校探検でいっぱいいいもの見つけたよ。」
「絵を描いて教えてあげるよ。」
(生活科と図工、国語)

とっても心配だったけど、学校って楽しいよ

明日も学校に行きたいな。



【参考】「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」
文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター編著

1年生は、義務教育のスタートであり、そのスタートを円滑に切るとは、その後の学校生活を支えることとなります。入学当初、児童が安心して小学校生活を楽しみ、自らの力を発揮しながら主体的な学習者として育っていく過程を思い描き学校全体で何ができるのか確認することが大切です。